

京都大学
大学院生
対象

平成23年度

研究科横断型教育プログラム

大学院教育の専門化が進む一方、学際的、複合的な研究課題が増加する中で、大学院生が広い視野を持ち、新しい学問領域を創造できるような研究能力を備えるためには、所属研究科の高度専門教育に加えて、研究科を横断して実施される教育プログラムを受講することが有効と考えられます。そこで、京都大学では「研究科横断型教育プログラム」を実施しております。

場所：吉田キャンパスほか 対象者：京都大学の大学院生（※科目により対象学年は異なります。）

A 研究科開講型 研究科で開催される大学院の授業のうち横断型教育に適合する科目の提供を受け、広く他研究科大学院生の受講を促すものです。

英語 英語による授業、宇治 宇治キャンパスで開講予定

前期科目		後期科目	
研究科名	授業科目名	研究科名	授業科目名
1 文学研究科 (GCOEプロジェクト)	社会学特殊講義 (Global COE Lecture Series) Reconstruction of the Intimate and Public Spheres I 英語	18 文学研究科 (GCOEプロジェクト)	社会学特殊講義 (Global COE Lecture Series) Reconstruction of the Intimate and Public Spheres II 英語
2 文学研究科 (GCOEプロジェクト)	社会学特殊講義 (Global COE Lecture Series) Reconstruction of the Intimate and Public Spheres	19 文学研究科 (GCOEプロジェクト)	社会学特殊講義 (Global COE Lecture Series) Reconstruction of the Intimate and Public Spheres
3 文学研究科	社会学特殊講義 アジアの近代性 I Asian Modernities I 英語	20 文学研究科	社会学特殊講義 アジアの近代性 II Asian Modernities II 英語
4 経済学研究科	社会思想史 A	21 経済学研究科	現代資本主義分析 A
5 経済学研究科	現代日本産業論 A	22 医学研究科	健康政策学
6 情報学研究科	情報と教育	23 医学研究科	国際保健学
7 情報学研究科 (経営管理大学院と共同開講)	イノベーションマネジメント基礎	24 工学研究科 (GCOEプロジェクト)	生存科学概論 Introduction to sustainability/survivability science 英語
8 情報学研究科	計算科学入門	25 工学研究科	可視化シミュレーション学
9 情報学研究科	計算科学演習 A	26 情報学研究科	情報分析・管理論
10 情報学研究科	計算科学演習 B	27 情報学研究科	情報分析・管理演習
11 情報学研究科	情報分析・管理論	28 情報学研究科 (経営管理大学院と共同開講)	サービスモデリング論
12 情報学研究科	情報分析・管理演習	29 情報学研究科	情報と知財
13 地球環境学舎 (京都サステナビリティ・イニシアティブ)	サステナビリティ学最前線 Frontier of Sustainability Science 英語	30 情報学研究科	メディア情報処理論
14 地球環境学舎 (京都サステナビリティ・イニシアティブ)	生存圏開発創成科学論 Science for Creative Research and Development of Humanosphere 英語 宇治	31 情報学研究科	計算科学特論
15 地球環境学舎 (京都サステナビリティ・イニシアティブ)	東南アジアの環境と社会 Environment and Society in Southeast Asia 英語	32 情報学研究科	スーパーコンピューティング特論
16 公共政策大学院	現代規範理論 Public Philosophy	33 地球環境学舎 (京都サステナビリティ・イニシアティブ)	生存圏診断統御科学論 Science for Diagnostics and Control of Humanosphere 英語 宇治
17 公共政策大学院	通商産業政策 Trade Policy and Industrial Policy		

B テーマ型 二つのテーマを設定し、研究所等からも協力を受けて、テーマに添ってバリエーションに富んだ授業の提供を受け、大学院生が選んで受講するものです。(授業回数は1科目につき5回です。)

テーマ① 歴史—未来を考えるヒント

歴史を学ぶ。それは「今」を知ることでもあり、「未来」を考えるヒントを得ることでもある。学問の「現在」に注意向けがちな理系の院生には、自分たちの分野の豊かな過去に接することで、時代の大きな流れの中に自らを位置づける「歴史の眼」を養ってもらおう。また過去の「文献」に力点を置きがちな文系の院生には、最新のデジタル情報を時代の証人と見る情報学のアプローチに触れてもらう。このように、文理にまたがった研究者と院生が各々の立場を超えて「歴史」について語り合うことで、新たな触媒効果を生み出すこと。それが本プログラムの目論見である。

宇治 宇治キャンパスで開講予定

部局名	授業科目名	開講予定時期
1 文学研究科	歴史の力—現代社会・文化・科学を解析するための歴史的思考力養成講座	5月12日、19日、26日、6月2日、9日(木曜日) 16時半～18時
2 生存圏研究所	木と文化 宇治	未定(平日:18時半～20時又は土曜日:13時～17時の予定)
3 防災研究所	防災考古学 宇治	未定(10月～12月の火曜日の予定)
4 宇宙総合学 研究ユニット	科学と産業の歴史から見たキャリアパス	未定(5月～6月の金曜日 18時半～20時の予定)

テーマ② 生命—命をめぐる知の冒険

21世紀、生命科学は新たな発展を続けている。我々「考える草」の基礎となる脳機能を理解する科学、治療困難な疾患治療を可能にする再生医学、迫りくる地球環境変動に対する植物科学や多様な生態系を理解する科学等、様々な生命現象が新たな知の光で明らかになりつつある。一方、こうした知の深化は我々に生命とは何かという大きな問題を投げかけてもいる。自然科学を学ぶものと人文社会科学を学ぶものが共通の話題を学び、議論することにより、総合的な知の醸成につながることを期待している。

部局名	授業科目名	開講予定時期
1 医学研究科	統計遺伝学	6月29日、7月6日、13日、20日、27日(水曜日) 18時半～20時
2 生命科学研究科 農学研究科	持続的な食(生命)の安全保障を考える	6月25日(土曜日) 13時～18時、7月9日(土曜日) 13時～16時15分
3 化学研究所	化学の視点で迫る生命現象:今、若手研究者が悩んでいること 宇治	未定
4 人文科学研究科	生命・差異・表象	6月16日、23日、30日、7月7日、14日(木曜日) 18時半～20時
5 防災研究所	動的河川生態学	未定
6 防災研究所	生存圏における川の生命の意味を探る	夏期集中(9月13日(火)予定)
7 ウイルス研究所	生命機能の獲得、維持と疾患	7月11日(月)～15日(金) 18時半～20時

各科目の詳細について

- 各科目の詳細は、京都大学ホームページに掲載されているシラバスをご覧ください。(トップページ(<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja>)右側に「23年度研究科横断型教育プログラム」のリンクバナーがあります。)
- 申込み前に、履修要件等についてシラバスの内容を必ずご確認ください。
- シラバスを冊子でご希望の場合は、所属部局の教務担当部署にお申し出いただくか下記担当宛にメールでお知らせください。

申込みについて

A タイプ

所属研究科の科目を受講する場合は通常の履修手続きですが、他研究科の科目を受講する場合は他研究科聴講の手続きが必要になります。所属研究科毎に申込期間等が異なりますので、**所属研究科の教務担当へ確認願います。**(4月初旬が申込期間となっているところが多いため早めに確認してください。(ホームページに申込み期間を掲載する予定です。))また、単位の取り扱いについても所属研究科ごとに異なりますので併せて確認願います。)

B タイプ

申込期間 平成23年 4月1日(金)～平成23年 4月25日(月)
 ※開講日が未定及び後期の科目については、上記期間後に再度申込期間を設ける予定です。その際はホームページで案内しますのでご確認ください。
 ※申込人数が多い科目は、早めに締め切る場合があります。(その場合はホームページ上でお知らせいたします。)
 ※人数に余裕があれば、申込期間後も受け付ける場合がありますので、メールでお問い合わせください。

申込方法 「受講申込書」を京都大学ホームページからダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、メールで申込期間内に送付してください。
 ・ 京都大学ホームページのトップページ (<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja>) 右側にリンクバナーがあります。
 ・ 申込先: oudan-edu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
 ・ メール の 件名 は【横断 B タイプ 受講申込】としてください。
 ・ ご記入いただいた個人情報、本プログラムの運営にのみ使用いたします。

修了証 Bタイプの科目については、単位は付与されませんが、希望者については以下(1)及び(2)の要件をどちらも満たした場合、授業科目ごとに「修了証」を発行します。
 (1) 原則、全回(5コマ)出席する。
 (2) 課題についてレポートを提出し、授業担当者の評価を受け認定される。



京都大学
研究科横断型教育企画実施委員会

担当 京都大学 教務企画課
 TEL:075-753-7499 FAX:075-753-2485
 E-mail: oudan-edu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp